

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 28 年 2 月 16 日 午後用

第 67 回 獣 医 師 国 家 試 験 学 説 試 験 問 題 (B)

注 意 事 項

1. 問題数は、80 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 副作用として出血性膀胱炎を示す抗腫瘍薬はどれか。

1. シクロホスファミド
2. ドキソルビシン
3. ビンクリスチン
4. シスプラチン
5. アスパラギナーゼ

問2 キチン質合成阻害作用をもつノミ駆虫薬はどれか。

1. ロペラミド
2. クロルヘキシジン
3. イベルメクチン
4. ジチアザニン
5. ルフェヌロン

問3 寄生虫病の治療薬に関する記述として誤っているのはどれか。

1. モネンシンはバベシア病の治療に使われる。
2. プラジクアンテルは条虫症の治療に使われる。
3. ピランテルは回虫症の治療に使われる。
4. メラルソミンは犬糸状虫症の治療に使われる。
5. ビチオノールは牛の肝蛭症の治療に使われる。

問4 牛の発情周期の同期化に使用する薬はどれか。

1. エフェドリン
2. カプトプリル
3. ロペラミド
4. ジノプロスト
5. チロキシシン

問5 有機リン系殺虫薬による中毒の治療薬はどれか。

1. メチレンブルー
2. D-ペニシラミン
3. アトロピン
4. ジメルカプロール
5. エデト酸カルシウム二ナトリウム

問6 牛のハイエナ病の原因はどれか。

1. ビタミンA 過剰
2. カルシウム欠乏
3. ビタミンD 過剰
4. ビタミンB₁ 過剰
5. エストロジェン欠乏

問7 尿毒症で観察される病理組織所見はどれか。

- a 大脳皮質の層状壊死
- b 肝臓の巣状壊死
- c 腎尿細管の尿酸塩沈着
- d 消化管粘膜の潰瘍
- e 肺胞壁の石灰沈着

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 骨病理に関する記述として正しいのはどれか。

- a 線維性骨異栄養症では骨が線維性組織に置換される。
- b 肺性肥大性骨症では対称性の外骨膜性骨増殖がみられる。
- c くろ病では石灰沈着異常により膜内骨化が障害され類骨が形成される。
- d 頭蓋下顎骨症では病変は左右不対称である。
- e 骨粗鬆症ではアンドロゲン欠乏により骨が菲薄化、多孔化する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問9 偏性細胞内寄生性細菌が引き起こす疾患でないのはどれか。

- 1. アナプラズマ病
- 2. 流行性羊流産
- 3. 腸腺腫症候群
- 4. ひな白痢
- 5. オウム病

問10 伝染性ファブリキウス嚢病の病原ウイルスに関する記述はどれか。

1. ゲノムは3分節である。
2. ゲノムは2本鎖RNAである。
3. ウイルス粒子の直径は約120 nmである。
4. エンベロープを有する。
5. 60℃、30分の熱処理で容易に失活する。

問11 ブルセラ菌の同定法として適切でないのはどれか。

1. 試験管凝集反応
2. 平板凝集反応
3. 選択培地による菌分離
4. 補体結合反応
5. 赤血球凝集抑制反応

問12 鞭毛をもつ細菌による疾患はどれか。

1. 炭疽
2. 家きんチフス
3. セレウス菌食中毒
4. 鼻疽
5. 赤痢

問13 我が国でトキソイドワクチンによる予防が行われている感染症はどれか。

- a 破傷風
- b 萎縮性鼻炎
- c 豚丹毒
- d 伝染性コリーザ
- e 流行性羊流産

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問14 犬のウイルス感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 犬パルボウイルス感染症は白血球数減少を特徴とする。
- 2. 犬伝染性喉頭気管炎は犬アデノウイルス1型が原因ウイルスである。
- 3. 犬パラインフルエンザウイルス感染症は上部気道感染症である。
- 4. 犬ジステンパーウイルスはアライグマにも感染する。
- 5. 犬コロナウイルスは消化器症状を引き起こす。

問15 マエディ・ビスナに関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 原因ウイルスは主に馬に感染する。
- 2. 急性感染症である。
- 3. 原因ウイルスは逆転写酵素をもつ。
- 4. マエディ型では脳組織の白質における脱髄が特徴である。
- 5. 水平感染は起こらない。

問16 牛伝染性鼻気管炎に関する記述として正しいのはどれか。

1. 原因ウイルスはレオウイルス科に属する。
2. 発熱を伴わない呼吸器症状が特徴である。
3. 我が国では2014年までに発生がない。
4. 汚染精液による人工授精によって生殖器感染が成立する。
5. 有効なワクチンはない。

問17 激しい下痢を呈する犬の新鮮糞便中に寄生虫の幼虫が観察された。最も疑われるのはどれか。

1. 糞線虫 (*Strongyloides stercoralis*)
2. 犬鞭虫 (*Trichuris vulpis*)
3. 犬回虫 (*Toxocara canis*)
4. 犬条虫 (*Dipylidium caninum*)
5. 東洋眼虫 (*Thelazia callipaeda*)

問18 牛の小型ピロプラズマ病に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 放牧牛、特に子牛が重症化しやすい。
2. 顕著な血尿、血色素尿を示す。
3. 原虫は赤血球とリンパ球で分裂、増殖する。
4. 貧血が主症状である。
5. 致死率は低い。

問19 食品の細菌学的検査において最初の培養温度を 44.5℃とする対象はどれか。

1. サルモネラ属菌
2. 大腸菌群
3. 糞便系大腸菌群
4. 腸球菌群
5. カンピロバクター属菌

問20 生乳を殺菌するための加熱温度と時間を設定する根拠となった菌はどれか。

1. *Brucella abortus*
2. *Salmonella enterica*
3. *Escherichia coli*
4. *Bacillus anthracis*
5. *Coxiella burnetii*

問21 ノロウイルス食中毒に関する記述として適当なのはどれか。

1. 潜伏期間は通常 3～5 日である。
2. 下痢と肺炎が主症状である。
3. 有効な治療薬はない。
4. 後遺症に注意が必要である。
5. 二次感染はしない。

問22 水分活性が0.86の食品内でも増殖可能な細菌はどれか。

1. サルモネラ菌
2. ボツリヌス菌
3. ウェルシュ菌
4. セレウス菌
5. 黄色ブドウ球菌

問23 腸チフスに関する記述として適当なのはどれか。

1. ヒトおよびサル of 疾患である。
2. 健康保菌者は主に脾臓で保菌している。
3. 経口感染しない。
4. バラ疹が主徴の1つである。
5. 発熱はない。

問24 ペストおよびペスト菌に関する記述として適切なのはどれか。

- a ペスト菌はビブリオ属の細菌である。
- b ヒトへの感染源は感染動物の糞尿で汚染された食品や水である。
- c 野生げっ歯類が病原巣動物である。
- d 「感染症法」では一類感染症に分類されている。
- e ヒトでは激しい下痢が特徴である。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問25 オウム病に関する記述として正しいのはどれか。

- a 「感染症法」では四類感染症に分類されている。
- b ヒトは感染鳥の糞便を吸入することで感染する。
- c ほとんどの感染鳥は鼻腔からの漿液性ないし化膿性鼻漏を呈する。
- d ヒトでは神経症状を呈することが多い。
- e 治療には β ラクタム系抗菌剤を使用する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問26 マールブルグ病に関する記述として正しいのはどれか。

- a 病原体はアレナウイルス科に属するウイルスである。
- b マールブルグ病のサルを診断した獣医師には届出の義務がある。
- c ヒトからヒトへの感染が起こる。
- d ヒトの感染では神経症状を主徴とする。
- e 予防のためのワクチンがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問27 ニパウイルスおよびその感染症に関する記述として適切なのはどれか。

- a コロナウイルス科に属する。
- b 自然宿主は豚である。
- c ヒトからヒトへの感染が起こる。
- d ヒトの感染では重篤な脳炎がしばしば見られる。
- e 2014年までの主な流行地は南米大陸である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問28 「水質汚濁に係る環境基準」において、河川では測定しているが、湖沼では測定していない指標はどれか。

1. pH
2. BOD
3. COD
4. DO
5. SS

問29 「土壌の汚染に係る環境基準」で検液中に検出されてはならないのはどれか。

1. 有機リン
2. 総水銀
3. カドミウム
4. ヒ素
5. 銅

問30 「大気汚染に係る環境基準」が設定されているのはどれか。

1. アルゴン
2. 二酸化炭素
3. オゾン
4. アンモニア
5. 二酸化窒素

問31 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」における「特別管理一般廃棄物」でないのはどれか。

1. 廃石綿等
2. PCB 使用部品
3. ダイオキシン類含有物
4. ばいじん
5. 感染性一般廃棄物

問32 地球の大気およびその汚染物質に関する記述として正しいのはどれか。

- a 地表面の酸素濃度は地球上のどこでもほぼ均一である。
- b 大気中の CO₂ 濃度が 300 ppm 以上になると人体に有害である。
- c SO_x や NO_x は酸性雨の原因となる。
- d 黄砂は PM2.5 の濃度に関係すると考えられている。
- e 大気温の逆転層は大気汚染に影響しない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問33 地球環境問題に関する記述として正しいのはどれか。

- a メタンは二酸化炭素よりも地球温暖化係数が小さい。
- b 「カルタヘナ議定書」は遺伝子改変された生物に関する規定である。
- c 酸性雨は湿性酸性降下物および乾性酸性降下物の総称である。
- d 「レッドデータブック」は「レッドリスト」の基になる。
- e ポザリカ事件が契機となって「バーゼル条約」が締結された。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問34 食品の燻蒸、加熱過程で生じる発がん物質はどれか。

1. トリクロロエチレン
2. ヘテロサイクリックアミン
3. ビスフェノール A
4. アフラトキシン
5. ブタキロサイド

問35 環境問題に関わる国際条約である「ストックホルム条約」の説明として正しいのはどれか。

1. 気候変動に関する条約である。
2. 有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関する条約である。
3. 国際的に重要な湿地に関する条約である。
4. 残留性有機汚染物質に関する条約である。
5. オゾン層保護のための条約である。

問36 「家畜伝染病予防法」における指定検疫物はどれか。

- a だちょう
- b カモ類
- c アライグマ
- d サル
- e コウモリ

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問37 粗飼料に関する記述として正しいのはどれか。

- a イネ科牧草、マメ科牧草、ワラ類、青刈り飼料作物、根菜類が含まれる。
- b 飼料そのものが有機酸の中和剤として機能する。
- c 第二胃の容積を大きく保つ。
- d エネルギーやタンパク質などの養分を多く含んでいる。
- e 反芻胃の機能を正常に維持するために必要である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問38 特用家畜の説明として誤っているのはどれか。

- 1. 昆虫を含む。
- 2. 乳などの生産物を利用する目的で飼育される。
- 3. 食肉検査の対象となる種がある。
- 4. 「飼養衛生管理基準」が定められている種がある。
- 5. ペット用の動物は含まれない。

問39 家畜伝染病発生時の死亡家畜の埋却に関して誤っているのはどれか。

- 1. 人や家畜が接近しない場所に埋却する。
- 2. 埋却する穴は死体を入れてもなお地表まで1m以上の余地を残す深さとする。
- 3. 埋却した場所には死体の病名および家畜の種類や日付等を記載する。
- 4. 各自治体が埋却地を用意することになっている。
- 5. 土質の軽い土地では石片等で死体を覆ってから土をかぶせる必要がある。

問40 我が国の高病原性鳥インフルエンザ対策の説明として正しいのはどれか。

1. 摘発淘汰戦略を採用している。
2. 発生農場周辺のリングワクチネーションを行うこととしている。
3. 発生農場周辺の農場についても殺処分対象としている。
4. H5N1 亜型はすべて高病原性鳥インフルエンザとして扱う。
5. 死亡あるいは殺処分鶏はすべて焼却処分する。

問41 重症化するとアイゼンメンジャー症候群に移行する心疾患はどれか。

1. 僧帽弁閉鎖不全
2. 三尖弁閉鎖不全
3. 大動脈狭窄
4. 肺動脈狭窄
5. 動脈管開存

問42 高カリウム血症の治療に用いる薬剤として適切でないのはどれか。

1. インスリン
2. グルコース
3. 硫酸マグネシウム
4. グルコン酸カルシウム
5. フロセミド

問43 ネフローゼ症候群の診断基準に含まれない所見はどれか。

1. 持続的な蛋白尿
2. 低アルブミン血症
3. 浮腫
4. 高コレステロール血症
5. 高窒素血症

問44 猫の特発性膀胱炎に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 治療法の1つとしてウェットフードへの変更が推奨されている。
2. 老齢猫に多発傾向がみられる。
3. トイレの環境改善は治療に有効な場合が多い。
4. 再発することが多い。
5. 疼痛を伴うことが多い。

問45 猫の肝リピドーシスに関する記述として適切なのはどれか。

- a カルニチンの過剰摂取により発症することが多い。
- b 肥満の猫で発生が多い。
- c 高ビリルビン血症が認められることが多い。
- d 肝臓のサイズが縮小していることが多い。
- e 治療のために絶食が行われる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問46 犬の副腎皮質機能低下症の治療薬として適当なのはどれか。

1. トリロスタン
2. ミトタン
3. ケトコナゾール
4. L-デプレニル
5. 酢酸フルドロコルチゾン

問47 犬の壊死性髄膜脳炎に関する記述として適切なのはどれか。

1. バグのみに発生が認められる。
2. 高齢犬で発生が多い。
3. 進行性の神経症状を呈する。
4. 肉芽腫性病変を形成する。
5. 一般に予後良好である。

問48 肺水腫の原因として一般的でない疾患・病態はどれか。

1. 誤嚥
2. 縦隔型リンパ腫
3. 左心不全
4. 上部気道閉塞性疾患
5. 熱中症（熱射病、日射病）

問49 真性赤血球増加症で一般的に認められる所見として適当でないのはどれか。

1. 動脈血酸素分圧の低下
2. 血清エリスロポエチン濃度の低値
3. 過粘稠度症候群
4. 骨髄における赤血球系細胞過形成
5. 粘膜充血

問50 犬の食物アレルギーに関する記述として適当なのはどれか。

- a 高齢になってから発症する例が多い。
- b 皮膚症状と消化器症状を併発することがある。
- c 複数の食物成分に対して過敏反応を示すことが多い。
- d 全ての症例で血清抗原特異的 IgE 抗体検査により確定診断が可能である。
- e 原因物質除去食の給与により 2～3 日で症状が改善する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問51 犬において溶血性貧血を起こす疾患・病態として適当でないのはどれか。

1. 低リン血症
2. エストロジェン過剰症
3. タマネギ中毒
4. バベシア症
5. ビルビン酸キナーゼ欠損症

問52 犬の炎症性腸疾患（IBD）の診断に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 特異的な血液検査所見を欠く。
2. 診断には食餌反応性腸症を除外する必要がある。
3. 抗菌薬反応性腸症の除外にはメトロニダゾールやタイロシンを用いる。
4. 消化管の病理組織学的検査が重要である。
5. 低悪性度リンパ腫との鑑別は容易である。

問53 犬の肝外胆道閉塞の原因として最も一般的な疾患はどれか。

1. 総胆管結石
2. 腸管内異物
3. 十二指腸腫瘍
4. 膵炎
5. 膵外分泌不全

問54 牛の循環器疾患のうち通常血清γグロブリン分画の増加を伴わない疾患はどれか。

- a 動脈管開存
- b 拡張型心筋症
- c 細菌性心内膜炎
- d 創傷性心膜炎
- e 後大静脈血栓症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問55 牛のアミロイド症に認められる臨床所見で特徴的なのはどれか。

- a 高アルブミン血症
- b 血便
- c 下顎や胸垂の冷性浮腫
- d 直腸検査での腎臓の腫大
- e 尿路閉塞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問56 ホルスタイン種乳牛の乾乳後期における適正なボディーコンディションスコアはどれか。

- 1. 2.5
- 2. 3.0
- 3. 3.5
- 4. 4.0
- 5. 4.5

問57 牛のスイートクローバー中毒に関する記述として適切なのはどれか。

- a 腐敗したスイートクローバーの採食によって発生する。
- b 原因物質は胎盤を通過しない。
- c 発熱が顕著になる。
- d 血小板減少症が生じる。
- e 治療としてビタミンK製剤を投与する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問58 犬の腹部超音波検査およびその所見に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 胆嚢壁外側周囲の高エコー像は胆嚢の炎症や肝臓との癒着を示唆する。
2. 先天性門脈体循環シャントを疑う場合、肝臓に流入する部位の門脈径を大動脈径と比較して評価する。
3. 副腎皮質機能亢進症を疑う場合、副腎の大きさは長径で評価する。
4. 消化管の5層構造の消失は腫瘍や肉芽腫性炎症を示唆する。
5. 良性の前立腺過形成では通常左右対称の肥大が認められる。

問59 犬の気胸の胸部X線所見として適当でないのはどれか。

1. 肺葉が胸壁から離れている。
2. 心尖が胸骨から離れている。
3. 横隔膜陰影が不鮮明となっている。
4. 肺紋理が確認しにくい。
5. 両側性に異常が認められることが多い。

問60 犬の軟口蓋過長症に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 短頭種で発生が多い。
2. 吸気時の喘鳴を特徴とする。
3. 重症例では非心原性肺水腫を合併することがある。
4. コルチコステロイドの投与は禁忌である。
5. 外鼻孔狭窄や気管低形成等を伴っていないか注意する必要がある。

問61 犬の股関節形成不全に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 成長期の急速な成長と体重増加は発生要因の1つと考えられている。
2. 成熟に伴い症状が一旦軽減することが多い。
3. 罹患股関節のX線所見と臨床症状の程度はよく一致する。
4. 成熟した症例犬では変形性関節症が臨床症状の大きな要因となる。
5. 成熟した症例犬でオルトラニ徴候が認められることはまれである。

問62 犬の気管虚脱に関する記述として適当でないのはどれか。

1. ポメラニアンは好発犬種である。
2. ガチョウの鳴声様の咳を特徴とする。
3. 様々な程度の気管支虚脱を伴うことが多い。
4. 呼気時と吸気時の気管、気管支のX線像がほぼ同一であることが特徴である。
5. 管腔虚脱の程度によってグレード I から IV (Tangner と Hobson のグレードイング) に分類される。

問63 乳び胸に関する記述として適切なのはどれか。

- a 原因の大部分は外傷である。
- b 胸水中トリグリセライド濃度は血清中より低い。
- c 線維性胸膜炎を合併することがある。
- d 手術法の1つに胸管結紮術がある。
- e 胸腔穿刺による胸水抜去は禁忌である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問64 犬の腸重積に関する記述として適当なのはどれか。

1. 1歳齢未満で認められることはまれである。
2. 十二指腸・空腸間の重積が最も多い。
3. 通常肛門側の腸管が吻側の腸管の中に入り込んで重積を起こす。
4. 超音波検査の診断的有用性が高い。
5. 消化管運動機能改善薬の投与により治癒することが多い。

問65 犬の膀胱移行上皮癌に関する記述として適切なのはどれか。

- a 雄よりも雌に発生が多い。
- b 転移することはまれである。
- c 膀胱尖部での発生が最も多い。
- d 診断には経皮的細針吸引生検が推奨される。
- e 非ステロイド系抗炎症薬が有効な場合がある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問66 犬の頸部椎間板ヘルニアに関する記述として適切なのはどれか。

- a 第一頸椎と第二頸椎間の発生が最も多い。
- b 通常椎間板の突出がみられ脱出していることはまれである。
- c 2歳齢以下の若い犬での発生が最も多い。
- d 症例の多くは頸部痛を示す。
- e 片側性に神経症状が認められることがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問67 犬のマイボーム腺腫に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 眼瞼腫瘍の中で最も発生が多い。
2. 上眼瞼に発生することが多い。
3. 表面は不規則に隆起する。
4. 腫瘍が増大すると二次的に角膜を損傷することがある。
5. 自然治癒することが多い。

問68 ウサギの歯に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 上顎切歯は前後に二重に萌出している。
2. 上顎には犬歯がある。
3. 草を咀嚼することで歯を磨耗させている。
4. 歯科疾患により流涙や眼球突出が認められることがある。
5. 歯の過長により不正咬合が問題となることがある。

問69 牛の前胃疾患とその原因の組合せとして適当なのはどれか。

- | 疾患 | 原因 |
|------------------|----------------------|
| 1. 第一胃鼓脹症（遊離ガス性） | —— 食道梗塞 |
| 2. 第一胃鼓脹症（泡沫性） | ————— 硬い草木の採食 |
| 3. 第一胃食滞 | ————— 周産期の肥満 |
| 4. 第一胃錯角化症 | ————— ビタミンDの欠乏 |
| 5. 創傷性第二胃炎 | ————— 炭水化物含量の多い飼料の多給 |

問70 馬の蹄葉炎に関する記述として適切なのはどれか。

- a 前肢より後肢に発生しやすい。
- b 穀類の過給に伴って発症することがある。
- c 深屈腱の牽引により蹄骨の角度変化が生じる。
- d 蹄底を支える充填剤は痛みを増強させる。
- e 急性期の神経ブロックは治療に有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問71 卵巢嚢腫に関する記述として適切なのはどれか。

- a 嚢腫様黄体は卵巢嚢腫の1つである。
- b 排卵後に嚢腫化したものを黄体嚢腫という。
- c 牛の卵胞嚢腫では思牡狂を示すことがある。
- d 豚では多胞性大型嚢腫の発生が多い。
- e 馬では卵巢嚢腫の発生が多い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問72 中腎傍管の部分的形成不全により生じる疾患はどれか。

- a 卵管間膜嚢胞
- b ホワイトヘイファー病
- c 重複外子宮口
- d 肉柱
- e 膣弁遺残

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問73 牛の子宮内膜炎に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 主として細菌感染により生じる。
2. 外子宮口からの滲出物を伴わないものを潜在性子宮内膜炎という。
3. 罹患牛の発情粘液の pH は正常牛に比べて低い。
4. 子宮内膜間質に炎症細胞の浸潤が認められる。
5. 子宮蓄膿症へ移行する場合がある。

問74 牛の胚移植に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 胚は通常人工授精後7日目に子宮灌流により採取する。
2. 胚の品質は通常、発育段階と細胞の形態の両方で評価する。
3. ドナーとレシピエントの発情日を同期化させることが必須である。
4. 胚は子宮体部に移植する。
5. 体外受精卵も胚移植に供用できる。

問75 実験動物の特徴に関する記述として正しいのはどれか。

1. ウサギは偽好酸球をもつ。
2. シリアンハムスターは交尾排卵動物である。
3. スナネズミはキャラバン行動をとる。
4. 犬の汗腺は腹部に集中している。
5. フェレットは胆嚢を欠く。

問76 実験動物のマウスおよびラットに遺伝子突然変異を誘発し、疾患モデル動物を作出する目的で使用される薬剤はどれか。

1. トリブロモエタノール (アバチン)
2. エチルニトロソウレア
3. アロキサシ
4. シスプラチン
5. テトラサイクリン

問77 ラブドウイルス科のウイルスが原因の魚類の疾患はどれか。

- a 伝染性造血器壊死症 (IHN)
- b ウイルス性神経壊死症 (VNN)
- c 伝染性腭臓壊死症 (IPN)
- d ウイルス性腹水症
- e ウイルス性出血性敗血症 (VHS)

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問78 浸漬法による水産用ワクチン投与が行われている疾患はどれか。

1. イリドウイルス感染症
2. α 溶血性レンサ球菌症
3. 類結節症
4. β 溶血性レンサ球菌症
5. ビブリオ病

問79 2014年までに我が国の養殖魚で発生が認められていない疾患はどれか。

1. コイの春ウイルス血症 (SVC)
2. 伝染性造血器壊死症 (IHN)
3. 伝染性脾臓壊死症 (IPN)
4. コイヘルペスウイルス病 (KHVD)
5. ウイルス性神経壊死症 (VNN)

問80 グラム陽性菌が原因の魚類の疾患はどれか。

1. レッドマウス病
2. カラムナリス病
3. 類結節症
4. 細菌性腎臓病 (BKD)
5. 細菌性鰓病 (BGD)

